

発掘された

平成 29 年 1 月 8 日 (日) 10:00 ~ 16:30

大宮ソニックシティ 小ホール

(さいたま市大宮区桜木町 1-7-5)

参加費：無料 (定員 480 名 / 事前申込制)

中世の姿

記念講演

「中世の考古学を考える」

立正大学名誉教授 坂詰 秀一氏



セミナー受講は事前申込制です。

先着順受付で定員に達し次第、または 12 月 28 日 (水) にて申込を締め切らせて頂きます。

申込は電話・メール・往復葉書のいずれかの方法で

①氏名(ふりがな) ②住所 ③電話番号をお知らせ下さい。(申込先は下記参照)

電話での申込の場合はその場で、その他の申込の場合は折り返し受講可否の通知を返信いたします。

メールでの申込の際は迷惑メールフィルタリングにご注意ください。(horutama@saimaibun.or.jp を受信可能に設定してください)

申し込み先/問い合わせ先 (月~金 9:00 ~ 17:00)

〒369-0108 埼玉県熊谷市船木台4-4-1

公益財団法人 埼玉県埋蔵文化財調査事業団 三都県公開セミナー係

TEL 0493-39-5345 メール horutama@saimaibun.or.jp

◆会場案内◆

JR 大宮駅西口より徒歩約3分です。
公共交通機関での来場にご協力ください。



道村 発掘された 墓 中世の姿

当日開催内容

- 10:00～10:05
開会挨拶
塩野谷孝志（埼玉県埋蔵文化財調査事業団理事長）
- 10:05～10:30
趣旨説明「発掘された中世」
村山卓（埼玉県埋蔵文化財調査事業団）
- 10:30～11:15
基調報告1「武蔵国 中世の道－鎌倉街道と枝道－」
斉藤進（東京都埋蔵文化財センター）
- 11:15～12:00
基調報告2「大山山麓に広がる中世遺跡」
松葉崇（かながわ考古学財団）
- 12:00～13:00 昼食休憩
- 13:00～14:00
記念講演「中世の考古学を考える」
坂詰秀一（立正大学名誉教授）
- 14:00～14:10 休憩
- 14:10～14:40
基調報告3「利根川堤防の下に眠る中世の村と墓」
渡邊理伊知（埼玉県埋蔵文化財調査事業団）
- 14:40～15:10
基調報告4「地中に埋もれた板碑」
砂生智江（埼玉県埋蔵文化財調査事業団）
- 15:10～15:20 休憩
- 15:20～16:25
ミニシンポジウム「発掘された中世の姿」
司会／内野正（東京都埋蔵文化財センター）
村山卓（埼玉県埋蔵文化財調査事業団）
- 16:25～16:30
閉会挨拶
金子直行（埼玉県埋蔵文化財調査事業団調査部長）

開催にあたって

この公開セミナーは、東京都スポーツ文化事業団東京都埋蔵文化財センター・かながわ考古学財団・埼玉県埋蔵文化財調査事業団の3財団による普及連携事業として、平成20年度から毎年持ち回りで開催しています。三都県の財団が行った遺跡の発掘調査事例と考古学の研究成果を発表することにより、財団の役割や業務について都県民の理解を深めていただくことを目的としております。

今回は、鎌倉時代から戦国時代にかけてのいわゆる中世を対象とし、「『発掘された中世の姿』―道・墓・村―」をテーマにしました。

中世は、その前後の古代律令体制と近世幕藩体制に比べ定義の難しい時代です。朝廷・貴族・武士・寺院などによる領地支配と地域経済は、日本の社会構造の時代とも言えます。そこで、これまでの発掘調査によって蓄積された考古資料や遺跡から、中世の歴史像を探るための公開セミナーを開催します。

主催 公益財団法人 埼玉県埋蔵文化財調査事業団

共催 公益財団法人 東京都スポーツ文化事業団 東京都埋蔵文化財センター 公益財団法人 かながわ考古学財団

後援 埼玉県教育委員会